

3 つの Museum

今回の視察では、競技やオリンピック施設の見学はもちろんのこと、文化的な面での視察ということで、オリンピックやパラリンピックの競技が行われている間にソチ市内の3つの博物館で行われている展示を視察した。

1. Sochi Art Museum

Sochi Art Museum では、“Education of body power ”と題して、Sport and the Romanov family (スポーツとロマノフ家) の展示や“Sport-art-Sochi”というタイトルでロシア絵画協会による展示があった。加えて、視覚に障がいある人のための触れる絵画の展示や ICT 機器を使った展示もあった。



(1) “Education of body power ” Sport and the Romanov family

ロマノフ家(王朝)は、1613年ミハエル ロマノフが皇帝となって以来 1917年にロシア革命で滅亡するまで、300年以上に渡りロシアを支配した王朝である。今回の展示は比較的新しいものであるが、自転車やテニス、スキー等現在のオリンピック競技にも関わる競技の展示からからトランプ等のゲーム、競技ウェアに至るまで展示されていた。



展示ポスター



皇帝肖像画



テニスラケット



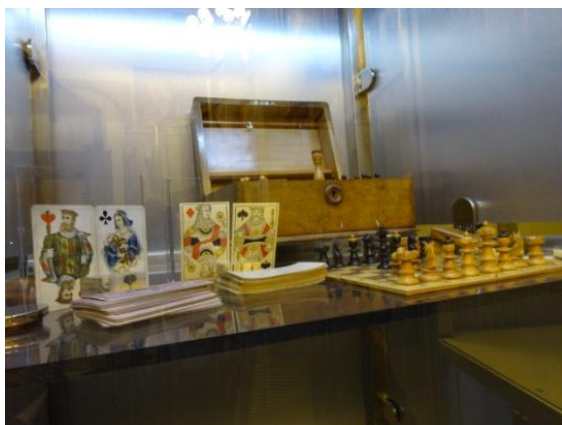
テニスウェア



スキー



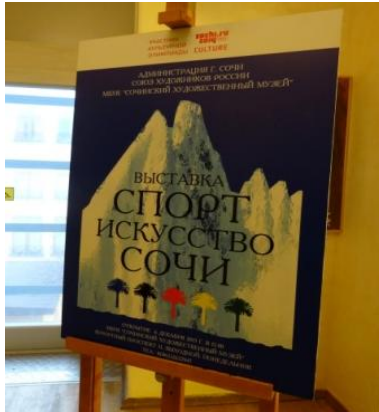
自転車



トランプやチェス等の遊具

(2) Sport-art-Sochi

ロシア絵画協会によるロシア全土から集められたオリンピック競技やスポーツに関する絵画や彫像、金属加工などによる芸術作品の展示があった。



ポスター



刺繍



版画



絵画(ホッケー)



ブロンズ像(サッカー)



ブロンズ像(相撲)



絵画(柔道)



イメージポスター



ステンレス加工(スケート)

(3) 視覚に支援が必要な方へのアート

視覚に支援が必要な方も手指の感触で絵画を楽しめる企画展示もあった。



凹凸をつけた下絵に色を塗る



オイルやニスを表面に塗り、触れるようにする



2. N.Ostrovskiy Literary-Museum (N.オストロフスキー文学記念ミュージアム)

ニコライ・アレクセーヴィチ・オストロフスキー(1904年～1936年)は、ソビエト連邦の作家、レーニン勲章授章者。全身の不随や失明に打ち勝って書かれた代表作『鋼鉄はいかに鍛えられたか』は、国内外から広く反響を集め、日本にも翻訳されている。ソチ市の出身ではないが、晩年を過ごしたソチ市では大変、尊敬を受けている。展示内容は、Personal exhibition of the National artist of Russia Sergey Andriyaki と Photo exhibition “ Images of Russia”であった。



記念ミュージアム



日本語に訳された書籍



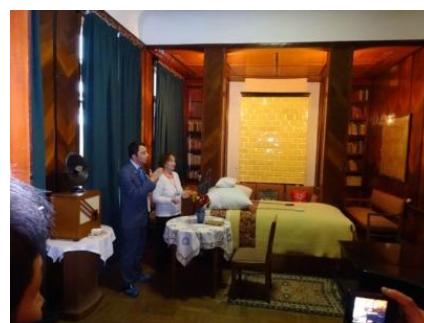
水彩画



晩年を過ごした家



室内で生涯の様子を聞く



晩年を過ごした部屋

3. Museum of Sochi

この博物館では、Ancient gold of Kuban and Black Sea Coast という企画展示を行っていた。ソチやロシアの石器時代から現代までの歴史博物館で、宇宙に関する展示も見られた。



外観



企画展のパネル



歴史的な家の復元

文責・撮影：根本文雄(筑波大学附属大塚特別支援学校)